

令和 元 年度 指定管理者評価表

【別紙5】

施設名：林業総合センター 木根館

指定管理者名：大阪府森林組合

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	S	S
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	A	A
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	S	S
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	A	A
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	A	A
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	S	S
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	A	A
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	A	A
	修繕は適切か。	A	A
	備品の管理は適切か。	A	A
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	A	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	A	A
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	A	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	A	A
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	A	A
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	S	S
	現金は適正に取扱われているか。	A	A
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	A	A
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	A	A
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	A	A
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	A	A
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	A

評価欄の説明

- S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	600,000	763,900	(163,900)	576,300	
	自主事業収入	4,200,000	4,722,355	(522,355)	5,722,442	
	物品販売収入			0	0	
	手数料収入			0		
	指定管理料	10,914,100	10,914,100	0	10,914,100	
	その他収入			0		
	収入総額	15,714,100	16,400,355	(686,255)	17,212,842	
支出	人件費	8,640,000	9,285,868	(645,868)	9,034,039	
	事務費	3,067,200	3,050,951	16,249	2,692,953	
	管理費	564,840	427,526	137,314	569,655	
	自主事業経費	2,520,000	2,217,139	302,861	3,071,686	
	光熱水費	626,400	981,616	(355,216)	641,492	
	リース料	100,440	51,150	49,290	100,440	
	その他			0		
	支出総額	15,518,880	16,014,250	(495,370)	16,110,265	0
収支差額	195,220	386,105	(190,885)	1,102,577	0	

3. 総合評価

自己評価

指定管理契約4年目の年であり、積極的な広報活動や情報発信、外部連携による各種取り組みは従来どおり行いつつ、新しいパートナーとの連携も増やし一層の充実を図ることができた。その中でもスターバックスコーヒージャパンとの連携では、多様な取り組みを共同で行うことができ、木根館並びにおおさか河内材の知名度を上げることに寄与し、今後共同で事業を行う基礎を築くことができた。一方、館内では多目的実習室の平日の利用者数を増やすべく、団体誘致なども積極的に行った結果、3月からの臨時休館のマイナスの要因もありながら利用料金収入(前年度比132%)を伸ばすことができた。

森林ESD関連においては、教育関係機関等と連携を図り、木根館を活用した森林ESD河内長野モデルを推進する1年であった。施設の老朽化による修繕箇所も増えつつあり、木部を中心に外注することなく木根館スタッフ及び森林組合職員にて修繕を行うことにより修繕費の削減に努めることができた。

市評価

令和元年度は、スターバックスコーヒージャパンとの連携イベントによる施設知名度向上や施設団体利用の積極的なPRが利用料金収入に繋がり、理想的な施設運営に努めていただけたものとする。また、新型コロナウイルス関連肺炎対策本部による方針に基づき3月からの臨時休館についても迅速に対応いただき、感染症対策に繋がったものとする。令和2年度については、様々な取り組みの成果が実る年度として新型コロナウイルス関連肺炎対策を考慮いただきながら令和という新しい時代に相応しい施設運営を期待する。

また、森林ESD関連については、木根館の有効的な活用として取り組むことは問題ないが、森林ESD事業委託については別業務の契約であるため、適切な事業遂行に努めていただきたい。